

第18回日本スカウトジャンボリー ボーイスカウト日本連盟100周年記念

ジャンボリーサマー2022

基本実施要項

Vol. 5



兵庫県立兔和野高原野外教育センター
ロクロシの森キャンプ場、各隊実施野営場
実施期間：令和4年の夏休み期間中
令和4年8月5日（金）～8月10日（水）（**兔和野高原会場**）

日本ボーイスカウト兵庫連盟

目次

第1章	開催の趣旨	-----	4
第2章	名称	-----	4
第3章	テーマ	-----	4
第4章	主催・後援	-----	4
4-1	主催	-----	4

4-2	後援	-----	4
第5章	会場	-----	5
5-1	会場の種類	-----	5
5-2	会場の名称	-----	5
第6章	開催期間	-----	5
6-1	期間	-----	5
6-2	開場と閉場	-----	5
6-3	参加者の入・退場	-----	5
第7章	参加者	-----	5
7-1	参加者の対象と条件	-----	5
7-2	参加資格	-----	6
第8章	参加費	-----	6
8-1	参加費	-----	6
8-2	参加費の使途	-----	6
第9章	参加章と入場許可	-----	6
第10章	参加申し込み	-----	7
10-1	確定申込み	-----	7
第11章	到着手続き	-----	7
11-1	参加隊	-----	7
11-2	大会本部要員	-----	7
第12章	組織と運営	-----	8
12-1	運営組織	-----	8
12-2	参加隊	-----	8
12-3	大会本部・支援本部の任務	-----	9
12-4	窓口責任者	-----	9
12-5	事務局	-----	9
12-6	隊長会議	-----	9
第13章	大会本部・支援委員会で用意する諸設備	-----	10
13-1	野营地	-----	10
13-2	共有地域と施設	-----	10
13-3	大会本部・支援本部施設	-----	10
13-4	工作材料	-----	10
13-5	各種付帯設備	-----	10
第14章	プログラム	-----	
14-1	全国共通プログラム	-----	11
14-2	県連プログラム	-----	11
14-3	標準日程	-----	11
第15章	服装と携行品	-----	11
15-1	服装	-----	11
15-2	携行品	-----	12
第16章	配給	-----	12
16-1	食料の配給	-----	12
16-2	燃料	-----	12
16-3	給水	-----	12
16-4	簡易浄化装置	-----	13
第17章	輸送	-----	13
17-1	輸送の原則	-----	13

17-2	輸送の方法	-----	13
17-3	車両の規制	-----	13
17-4	交通案内	-----	13
17-5	使用地形図	-----	13
第18章	健康及び救護衛生	-----	14
18-1	個人衛生	-----	14
18-2	感染予防	-----	14
18-3	救護所	-----	14
18-4	救急処置	-----	14
18-5	環境衛生	-----	14
第19章	災害時の緊急処置	-----	15
19-1	方針	-----	15
19-2	情報の収集	-----	15
19-3	避難の発動	-----	15
第20章	見学者の来訪	-----	15
第21章	参観者の来訪	-----	15
第22章	その他	-----	16

第1章 開催の趣旨

第18回日本スカウトジャンボリーは、当初2022年8月に東京での開催でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により東京に集まる大会ではなく、近畿ブロックとしては県連毎にジャンボリーサマーを開催する事としました。兵庫連盟としては兔和野高原をメイン会場に各隊が野営する会場で実施。目的、テーマ、プログラム等については日本連盟の方針に沿った形で実施致します。

第2章 名称

第18回日本スカウトジャンボリー ジャンボリーサマー2022兵庫

第3章 テーマ

100₃^f

～自分の f を探せ～

日本ボーイスカウトが100周年を迎えるにあたり、歴史を振り返り、これからの100年を築き上げる契機となるよう、自ら考えるf (future friend family faith fun face fujiなど) を探して未来にかけていく、スカウト自主性を発信していく姿を表すテーマ。

第4章 主催・後援

4-1 主催

ボーイスカウト日本連盟
ボーイスカウト兵庫連盟

4-2 後援

一般財団法人兵庫県ボーイスカウト振興会
兵庫県立兔和野野外教育センター

第5章 会場

5-1 会場の種類

- 1) 兔和野高原野外学習センター（メイン会場）*当基本実施要項適用会場
- 2) ロクロシの森キャンプ場（登録要）*当基本実施要項適用会場
- 3) 各団指定のキャンプ場（登録要）

5-2 会場の名称

第18回日本スカウトジャンボリー
ジャンボリーサマー2022

- 1) 兵庫連盟 兔和野会場、ロクロシの森会場、各隊野営場名称会場
※各会場及び大会名称は上記の通り表記する。

第6章 開催期間

6-1 期間

本大会は、夏休み期間中に各所で実施する隊野営（5泊6日）の実施期間を開催期間とする。また、兵庫連盟が準備する兔和野高原とロクロシの森（兵庫会場）については、**基本**8月5日（金）に始まり8月10日（水）をもって終了する。

6-2 開場と閉場

兵庫会場は8月5日（水）の13時に開場し、8月10日（水）12時に閉場する。

6-3 兵庫会場への参加者の入・退場

- 1) 参加隊は、8月5日（金）13時より会場に到着、諸手続きを済ませ設営実施
- 2) 退場は8月10日（水）朝食後、直ちに撤営に取りかかり点検を受けた後、12時までに完了する。（時間厳守）
- 3) 大会本部員は8月4日に設営で入場し、参加隊撤収完了翌日8月11日に解散する。野営地は8月4日から11日までの期間を賃借利用期間とする。

第7章 参加者

7-1 参加者の対象と条件

スカウト、指導者および大会本部要員など（カブ、ビーバー等の見学者を除く）
兵庫連盟に加入登録しているボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウト、および指導者、大会本部要員など

7-2 参加資格

参加にあたっては次の要件を基準とする。（日本連盟）

- 大会が指定するプログラムに参加すること
- 県連盟が定めるキャンプ生活を送ること
- ボーイスカウトの班を編成すること
- ベンチャースカウトは日本連盟が別途定めるプログラムに参加すること

兵庫連盟としての参加資格としては

- (1) 令和4年度加盟登録済のSFHの考え方を受容するスカウトおよび指導者
 - ①ボーイスカウトは参加時に初級以上で、身体強健であり、本大会の野営生活に耐えられると隊長が認めた者
 - ②ベンチャースカウトは高度な野外活動を通し隼に挑戦意欲を持ち隊長からの支援を受けられる者
 - ③ローバースカウト、各隊指導者、兵庫連盟の役員・職員
- (2) 兵庫連盟から委嘱された、各分野における専門家
(註) SFH：セーフ・フローム・ハーム

第8章 参加費

8-1 参加費

- 1) **ジャンボリーサマー2022に参加登録するスカウト、指導者（大会本部要員NSJを含む）は、18NSJ登録費として一人当たり2,000円（内、1,000円県連盟より補助）とし、兎和野会場参加者は会場利用費用および諸経費として、一人当たり1,000円を徴収する。プログラム等で必要な費用があれば別途とする。基本献立（6月中に連絡）の食材費および兎和野高原参加費については7月中旬頃に別途徴収する。**
- 2) **18NSJ登録費について、申込完了後にキャンセルとなった場合は県連補助費1,000円を別途徴収する。**

8-2 参加費の使途

- 1) 参加章および配布資料（18NSJ）
- 2) 会場の追加インフラ設備費、運営費、会場使用料（会場の使用料）。インフラについては出来るだけ簡素にする。

※納入**兎和野会場**参加費は、本部の承認を得て、他の参加者に振替ることができるが払い戻

しはしない。

8-3 氷および薪の販売

兎和野会場で使用する氷(金額は後日)および薪(1束350円)について事前予約を行います。
申込締切予定 6月末 申込用紙は後日お送りします。

第9章 参加章と兵庫会場入場許可

兵庫会場への入場は、参加章(18NSJワッペン)または入場章の着用者に限る。

- 1) 参加者は参加章を右ポケットの中央に着用する。
- 2) 兵庫会場入場は、大会運営本部の受付に申し出ることにより許可される。
- 3) 安全管理面から、見学・支援での入場も全て受付して下さい。
参加費を支払わない方の宿泊・食事はお断りします。
- 4) 入場章(缶バッジ:入場章100円)は、大会運営本部から許可された訪問者に配布する。
- 5) 事前に申込(6月末締切)のカブ・ビーバーの見学者には入場章を配布します。

第10章 参加申し込み

10-1 確定申し込み

- 1) 参加確定申し込みは、日本連盟様式Dに必要事項を記入し地区を通じて令和4年5月20日までに兵庫連盟にExcelで提出する。18NSJ参加費は地区を通じて令和4年5月27日までに県連事務局に振込んでください。
隊控えのうち1部は会場到着時に参加手続き用として大会運営本部に提出する。
- 2) 兵庫連盟は、参加章その他の配布物・書類は地区窓口担当を通じて事前に各団に送付する。

第11章 到着手続き

11-1 参加隊

- 1) 各参加隊は8月5日(金)13:00~17:00までに大会運営本部で到着手続きを完了する。
- 2) 大会本部員は到着報告を受け、次のことを行う。
 - ① 申込名簿と実際到着人員、遅延者の有無等
 - ② 配布物品などの交付

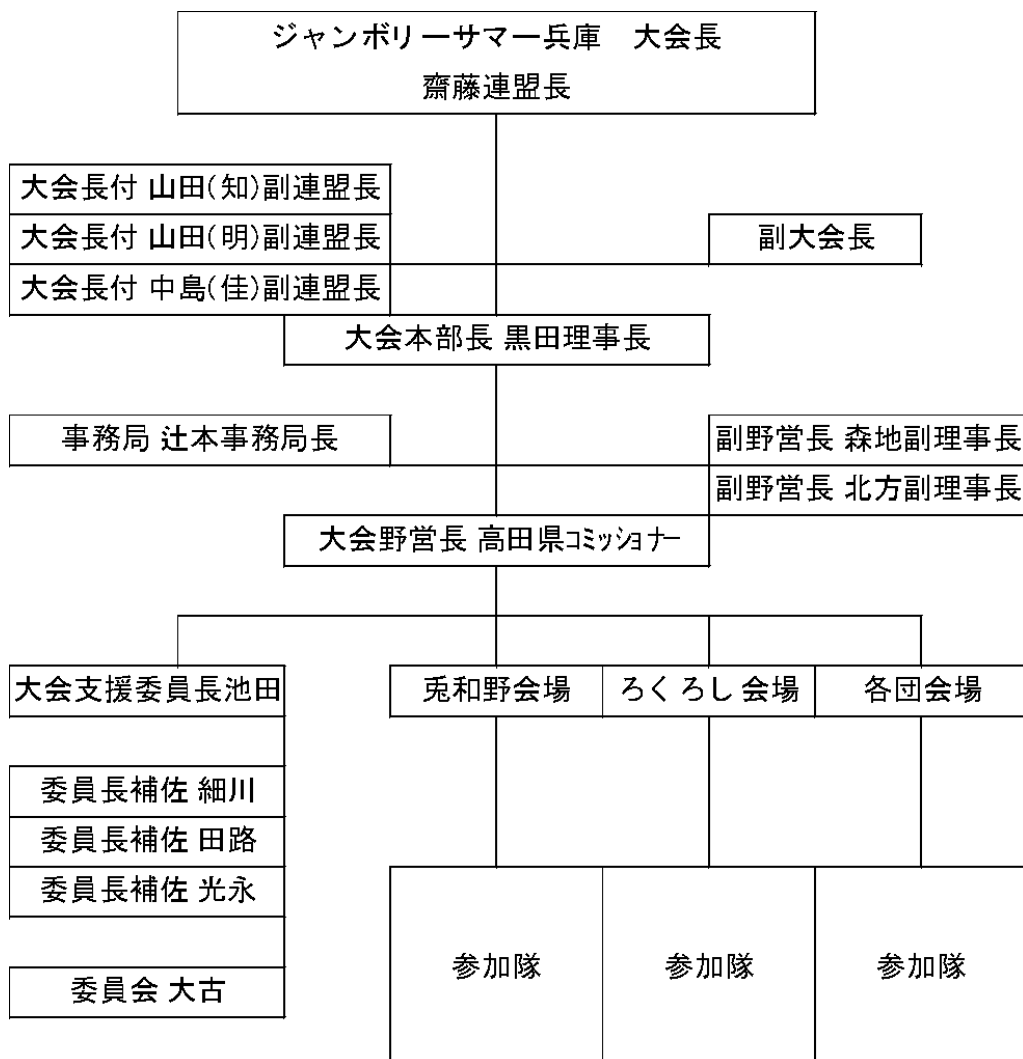
11-2 大会本部員

すべての大会本部員は、別に定める日時までにそれぞれの所属部門で到着手続きを行う。

第12章

組織と運営

12-1 ジャンボリーサマー大会組織



12-2 参加隊

隊長・副長を先に決定し、4名以上からなる3個班以上で構成(基本構成40名で野营地割、配給)するが、原隊独自の構成が難しい場合は、近隣団・地区で合同隊編成の調整し、隊を編成する。

指導者の資格と登録番号を確認する。

配給支援者の人員として各隊1名～2名お願いいたします(1日1回)

12-3 大会本部・支援本部の任務

- 1 確定申込みの管理、参加費の管理(予算、決算・金銭の出納)に関すること。
- 2 兵庫会場参加隊受付及び参加者・奉仕者の人数の把握に関すること。
- ③兵庫会場危機管理に関すること。
- ④大会全般の記録と報告書作成に関すること。

- ⑤兵庫会場参加者の安全と規律に関すること。
- ⑥兵庫会場基本配給物の配給に関すること
- ⑦兵庫会場地割に関すること。
- ⑧兵庫会場車両の運行、道路・駐車場の管理と指導。
- ⑨兵庫会場資材の運搬に関すること。
- ⑩兵庫会場大会設備全般に関すること。
- ⑪兵庫会場ゴミ収集の管理指導
- ⑫兵庫会場その他野営管理に関すること。

1 2 - 4 窓口責任者

- ①参加隊地区編成
- ②参加者名簿の確認
- ③参加指導者の資格・期間の確認
- 3 申し込みに関すること
- 4 兵庫会場輸送計画の把握
- ⑥兵庫会場現地での統括管理、サポート業務
(配給・入退場管理・サイト管理・野営管理、他)
- ⑦支援委員会との連絡業務

1 2 - 5 事務局

- 1 参加者の申し込みに関すること。
- 2 予算、決算に関すること。
- 3 大会参加人員の把握。
- 5 大会前後の広報に関すること。
- 6 兵庫会場危機管理に関すること。
- 7 兵庫会場来賓に関すること
- 8 18NSJに関する事務連絡に関すること。

1 2 - 6 兵庫会場隊長会議

兵庫会場の大会中は毎日定時に実施致します。交流プログラムについてはコロナ過でもあり出来ませんが、スカウトの健康状態、隊での実施プログラム等の報告、支援本部からの連絡事項等の打ち合わせをします、時間については後日発表します。内容については、現存の指導者人数・スカウト人数・支援者人数、健康状態の確認（熱、ケガ、睡眠状況、清拭、着替等）、連絡情報の交換、調整、撤収時の打ち合わせ等。

第 1 3 章 大会本部・支援委員会で用意する諸設備

1 3 - 1 兵庫会場設営地

- 1) 兵庫会場では、支援委員会は各隊に野営地を割り当てる。
参加隊設営地は、大会支援委員会を中心に割り当てる。
- 2) 各隊は、割当について責任を持つ。特に火気の取り扱いに留意し山火事をおこさないこと。防火用水を準備すること。現状復旧の上、撤収とする。側溝の掘れない区域があります

下見時に説明します。

1 3 - 2 兵庫会場における共有地域と施設

- 1) 大会主会場、各種プログラム会場は既存の施設、自然の地勢を利用して使用する。
- 2) 会場内道路
- 3) 駐車場
参加隊関係車両は第二グラウンド前に駐車し、徒歩にて会場へ入場。
管理棟横には他団体車両、大会業務車両、来賓車両専用とする。
- 4) その他

1 3 - 3 兵庫会場における大会本部・支援本部施設

大会本部事務所、会議所は集会棟に置く。
大会支援委員会の宿泊所、来賓宿泊所は第1管理棟に置く。

1 3 - 4 兵庫会場における工作材料

工作用材料は、各隊で準備下さい。使用した材料は参加隊で持ち帰ること

1 3 - 5 兵庫会場における各種付帯設備

水道、流し台（上水専用）・支援委員会食堂厨房排水・既存便所、簡易便所、入浴施設については、他団体との兼ね合いもあり使用出来ません。仮設シャワーも水源保水量の関係で設置出来ません。炊事場からサイトへ水を運び清拭で対応ください、各隊で場外施設利用下さい。

第14章 プログラム

プログラムの基本

ジャンボリーサマー2022では、スカウト野営を実施することを旨とする。スカウト野営とは、不便な森の中で、いかに楽しく、快適に過ごすか工夫し、日々の改善を中心とするものであり、その主体は班である。班では、特にプログラムが設置されていない空き時間（Spare Time）を有効に活用する。そこでは、自発活動を促すために評価・指導をするが、災害などの緊急対応を除き、スカウトの生活に直接便宜を図ることはない。そのため、これを実現するには、1年かけての訓練が必要となる。とりわけ班長を中心とした班活動を充分経験しておく事が肝要である。

全国共通のプログラムと兵庫連盟共通プログラムと各会場の特色を活かしたプログラムにより構成していく。全国及び、兵庫連盟各地の活動が共有できるようウェブ等のICT技術を活用して活動の記録や発信ができるようにする。各プログラムは県コミッショナー及び奉仕者が当たる。

1 4 - 1 全国共通プログラム

- 1) 日本一プログラム
班対抗によるスカウト技能を競う日本一プログラムを設定する（班旗立て、火起こし、手旗）。
- 2) 信仰奨励（班や隊でのスカウトOWN・サービスなど）
- 3) SDGsプログラム（班で決めたSDGsプログラムに取り組む）

1 4 - 2 県連盟プログラム

兵庫連盟として、共通プログラムを展開します。（詳細は後報します）

- ①班サイトコンテスト
- ②ネットによるL I V E交流など

ジャンボリー大集会、8月7日 東京開催のL I V E視聴を会場毎に予定

1 4 - 3 標準日程

期間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
日程	8月5日 (金)	8月6日(土)	8月7日(日)	8月8日(月)	8月9日 (火)	8月10日 (水)
午前		参加隊活動	参加隊活動	参加隊活動	参加隊活動	撤営・退場
午後	受付13時 設営	参加隊活動	参加隊活動	参加隊活動	参加隊活動	完全退場12:00
夜間	参加隊活動	参加隊活動	ジャンボリー大集会 L I V E	参加隊活動	参加隊活動	

第15章 服装と携行品

1 5 - 1 服装

- ①参加者の服装は正装とし、制服の右ポケットに参加章を着用する。健康保険証（写し）、健康調査カードを携行する。
- ②公式の場、外出は正装とし、隊サイト内での活動とき及び作業に従事するときは、それにふさわしい服装とする。日射病・熱中症の対策を行うこと
- ③朝晩は気温が下がることもあります。

1 5 - 2 携行品

個人携行品または隊携行品に関する事項は、参加者が自主的に判断し、携行するものとする。の着用を推奨する。また、日射病対策や熱中症対策等を隊及び個人で携行すること。

第16章 兵庫会場における配給

1 6 - 1 食料の配給

- 1) 配給は8月5日（金）夕食分から8月10日（水）昼食までとする。
- 2) 献立は原則参加隊の自由とするが、標準献立表を別途示す。
- 3) 標準献立表により生鮮野菜・肉・魚・氷・石鹼洗剤等は配給するが、米・レトルト類・調味料は配給しない。
 - ①配給食糧のうち日保ちする食材は初日にスターターキットとして配給する。
 - ②標準献立表、配給日時等は別に示す。
事前に使用材料は提供しますので、アレルギー体質の方はご確認下さい。
参加隊で対応をお願いします。
 - ③調達先の都合でパック分けが出来ない可能性がありますので、配給受け取り時は容器（液体もある可能性がある）の準備をお願いします。

- ④配給時間に遅れると冷蔵維持が出来ませんのでご了承ください。
- ⑤水は有償配給（事前受付分）します。

16-2 燃料

- 1) 燃料は薪とし、キャンプサイトエリアにあります。以外持参か支援委員会に注文願います。（1束350円）
野営地ではたちかまどを使用し、直火は禁止する。
- 2) 防火用水を準備する。

16-3 給水

- 1) 給水は既設の水道及び仮設流しを設置する。（水汲専用・洗濯・洗顔は自隊サイトで行う。）
- 2) 水の使用については無駄のないように節水に努める。（既存配給水量に限界がある）
- 3) 保健衛生上から、生水は絶対飲まないように注意し、煮沸の上飲料水とする。

16-4 簡易浄化装置

環境保護のため、参加隊の排水浄化用簡易浄化装置を各隊で設ける。
油処理を行い、排水設備に流す。油は吸着紙に吸わせ、可燃ごみに出す。
残飯除去後の排水は集会棟横 汚水処理槽に受入口を設置するので、サイトからポリタンクでの運搬をする（蓋必要）

第17章 兵庫会場における輸送

17-1 輸送の原則

- 参加各隊、地区の人員ならびに荷物の輸送は任意とする（事前に輸送アンケートを行います）
- 教育センター内への乗りつけは禁止する。（場内通行許可証のみ通行可能）
- バス輸送の乗降は指定場所で行う。
- 隊備品の搬入トラックに関しては別途指示する。
- 遅れて参加するスカウト・指導者は事前に支援委員会へ連絡に上、到着時は受付を行う。

17-2 輸送の方法

参加隊の人員及び貨物は会場付近略図に従い、隊または地区において準備する。
夏場のピーク時であるので、時間の余裕を持って計画する必要がある。

17-3 車両の規制

- 1) 集散時のバス・トラックは一定のルールのもとで運行する。
- 2) 会期中会場内の個人車両の使用は認めない。
- 3) 大会本部・支援委員会等の運営車両は別途定める。
- 4) 市町、警察、救急、報道、郵便、消防などの用務車両は優先する。
- 5) 参加者・見学者の車両は第二グラウンド前駐車場を利用する。（期間中事前申請の駐車許可書を車両に明示する）

17-4 交通案内（別途案内図を配布します）

- 1) 山陰本線八鹿駅から、全但バス 村岡・花岡・湯村方面行き40分 ハチ北口下

- 車 車で約10分
2) 北近畿豊岡自動車「八鹿・氷ノ山IC」国道9号線「兎野高原口」左折約4km

17-5 使用地形図

兎野高原

国土地理院発行225,000分の1「村岡」
標高550m 北緯35°26'46"

ロクロシの森

第18章 健康及び救護衛生

18-1 個人衛生

- 1) 参加者は、隊長の指導のもとに保健衛生に充分留意する。
- 2) 隊長は、大会本部が発行する健康調査カードと健康保険証の写しを携行し受診の際に提示する。
- 3) 日本連盟「2019年夏期の諸活動の留意事項」及びコミッショナー通達がHPに掲載されています。活用して下さい。
- 4) 隊指導者は、スカウトの健康状態に気配りをし、水分補給・休憩・睡眠等の管理をお願いします。
- 5) アレルギーの薬を冷蔵庫で保管する場合は、支援委員会宿舎でお預かり出来ますが、保管容量が限られていますので、一つにまとめて氏名明記の事、退出前に引き取りの事、事前に大会本部へ申し出て下さい。（書式はありません）

18-2 感染予防

- 1) 各自マスクの着用、間隔が確保された屋外では、状況に応じた対応可能
- 2) 手洗い・アルコール消毒は各自または参加隊で行うこと

18-3 救護所

18NSJジャンボリーサマー2022 兵庫会場では救護所及び医療施設は設置致しません。地区・団・隊にて処置願います。会場付近の病院等は別紙案内します。

18-4 兵庫会場における救急処置

指導者の判断で外部医療施設への委託する場合、治療費は本人の負担とする。また、隊指導者は処置の状況を家族・団・大会本部へ報告する必要があるため引率すること。

18-5 兵庫会場における環境衛生

- 1) 共同施設の使用
快適な野営生活をするため、便所その他の共同施設は使用者が汚さないように留意し、清潔にする。清掃、消毒は各参加隊が輪番制で担当する。
- 2) ゴミ処理
野生動物対策のため、生ごみを埋めることは禁止。可燃ごみは参加隊において焼却を原則として処理し、野営場収集はセンター分別ルールにより処理する。
食材で配給したもの以外（野営機材等参加隊が持ち込んだもの）は受取しませんので持ち帰ること。
ゴミ袋は市指定の可燃物用と不燃物用を購入してください。（支援委員会でまとめて購入分
もあり）尚、ゴミ袋には「うわの」とマジックインクで記入すること、その為のマジック

インクは各隊で準備の事。
薪の灰・燃え残りはゴミで出しますが、極力燃やし切って処理願います

①排水処理

参加隊の生活排水は、簡易浄化装置により浄化して排水する。
濾過砂は各隊で用意する。油は紙に吸着させ、地中排水は禁止する。

②洗剤等の使用

洗剤は、自然にやさしい成分の使用ください
シャワーは既存配給水量不足により設置しません。各隊で外部入浴施設利用または、
清拭で対応してください。

第19章 災害時の緊急処置

19-1 方針

台風、豪雨、地震の天災で野営生活の維持が困難となり、かつ参加者の安全を図る必要が生じた時は大会長の判断に基づいて一時、外部施設に退避する。

19-2 情報の収集

大会本部・各隊指導者ともに気象情報に注意し台風、豪雨、地震等の来襲を早期に予知することに努め、参加者に警告する。

19-3 兵庫会場における退避の発動

大会長の決定に基づき、退避について野営長が大会本部を通じて各参加隊に指示する。

1) 收容計画

別に示す。

2) 退避する参加隊の行動基準

退避を指示された参加隊は、キャンプサイトを時間の許す限り整理し、寝具、配給された食糧及び個人携行品を取りまとめ、予め指示された場所に集結し、指示に従って、所定の退避場所へ整然と移動する。

3) 参加隊は、指導者の一部を残留させ、隊野営地の監視に当たらせる。

19-4 兵庫会場における緊急時の大会本部の緊急時の任務

大会本部各部の緊急時の任務は別に定める。

第20章 見学者の来訪

ビーバースカウト、カブスカウト隊の見学は、おおいに歓迎するが、事前申し込みとし、

新

型コロナウィルス感染予防に努める。

1) 各隊の輸送及びプログラムは、それぞれ各隊、各地区において計画実施する。

2) ビーバー隊の舎営は、これを一切禁止するが、宿泊の伴わない活動として、大会を見学

さ

れることを推奨する。

3) 兎和野高原野外教育センターでは、入場につき。別途費用が発生致します。

第21章

参観者の来訪

- 1) 大会本部にて受付し、入場章を購入する。
- 2) 参観者の入場は、開催期間中、9時から21時までとする。
- 3) 参観者は必ず入場章をつけて見学する。

第22章

その他

隊指導者の手引き（プログラムガイドを含む）、安全管理・輸送関係などは、別に発行する。